ホクコーアディオン®乳剤

■種 類 名：ペルメトリン乳剤
■有効成分：ペルメトリン---------- 20.0%
■化管法指定物質：ペルメトリン［第１種］ ---------- 20.0%
キシレン［第１種］ ---------- 26.0%
エチルベンゼン［第１種］ ---------- 47.0%

■登録番号：第15959号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1985.02.21
■性　　状：淡黄色澄明可乳化油状液体
■有効年限：5年
■包　　装：100㎖×60本、500㎖×20本
■危 険 物：第二石油類危険等級Ⅲ、火気厳禁

【特長】

- 幅広い殺虫スペクトラムをもつ合成ピレスロイド系殺虫剤。
- 各種野菜から畑作物、果樹まで適用作物が幅広い。

【適用内容】（2025 年 3 月 12 日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
なし	アブラムシ類、シンクイムシ類	2000～3000	200～700リットル/10ａ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	ハマキムシ類	2000					
	カメムシ類						
もも	シンクイムシ類、アブラムシ類 ハマキムシ類	2000～3000		収穫７日前まで	6回以内		6回以内
	モモハモグリガ	2000～4000					
ネクタリン	カメムシ類	2000			3回以内		3回以内
	シンクイムシ類、アブラムシ類 ハマキムシ類	2000～3000					
	モモハモグリガ	2000～4000					
うめ	アブラムシ類	3000		収穫前日まで	2回以内		2回以内
かき	カキノヘタムシガ、カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	2000～3000		収穫７日前まで	5回以内		5回以内
	カキクダアザミウマ	2000					
キウイフルーツ	キイロマイコガ	2000～3000					
	カメムシ類	2000					
くり	クリタマバチ	1000～2000		羽化脱出期 但し収穫14日前まで			
	クリシギゾウムシ	2000		収穫14日前まで	6回以内		6回以内
かんきつ	ミカンハモグリガ、アブラムシ類	2000～4000					
	チャノキイロアザミウマ	2000～3000					
	カメムシ類	2000					
いちじく	アザミウマ類、アブラムシ類			収穫前日まで	2回以内		2回以内
	イチジクヒトリモドキ	3000					
はまなす(果実)	シンクイムシ類	2000		収穫７日前まで			
さるなし	キイロマイコガ						
アロニア	シンクイムシ類	3000		収穫14日前まで			
ハスカップ	ハマキムシ類、アブラムシ類	2000～3000		収穫３日前まで			
とうもろこし	アワノメイガ	2000	100～300リットル/10ａ	収穫14日前まで	4回以内		4回以内
	アブラムシ類	2000～3000					
きゅうり	オンシツコナジラミ、ウリハムシ アブラムシ類			収穫前日まで	3回以内		3回以内
ズッキーニ	アブラムシ類、フキノメイガ			収穫７日前まで			6回以内（乳剤は3回以内、粒剤は3回以内）
にがうり	アブラムシ類、カメムシ類、タバコカスミカメ ヨトウムシ類、フキノメイガ			収穫前日まで			3回以内
すいか、メロン かぼちゃ	アブラムシ類				5回以内		5回以内
いちご		3000					
葉ごぼう				収穫14日前まで	2回以内		2回以内
ごぼう		2000～3000		収穫７日前まで	5回以内		5回以内
	ヨトウムシ	2000					

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ヨトウムシ、タマナギンウワバ	2000	100～300リットル/10ａ	収穫3日前まで	5回以内	散布	5回以内（株元灌注は2回以内）
	ネキリムシ類	4000～8000	0.5リットル/m²	収穫21日前まで	2回以内	株元灌注	
	アオムシ、ヨトウムシ	32	1.6～3.2リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	無人航空機による散布	
はくさい	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ハクサイダニ、ヨトウムシ	2000	100～300リットル/10ａ	収穫7日前まで		散布	5回以内
	ネキリムシ類	4000～8000	0.5～1リットル/m²			株元灌注	
	アオムシ、ヨトウムシ	32	1.6～3.2リットル/10a			無人航空機による散布	
		64	3.2リットル/10a				
だいこん	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ ハイマダラノメイガ ダイコンハムシ	2000	100～300リットル/10ａ	収穫30日前まで	4回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	2000～3000					
かぶ	アオムシ	2000		収穫前日まで	2回以内		4回以内（散布は2回以内）
茎ブロッコリー				収穫7日前まで	3回以内		3回以内
ブロッコリー	コナガ	2000		収穫3日前まで	5回以内		5回以内
	アブラムシ類	2000～3000					
	ネキリムシ類	4000～8000	0.5～1リットル/m²	収穫7日前まで		株元灌注	
カリフラワー	コナガ	2000	100～300リットル/10ａ	収穫3日前まで		散布	3回以内
	アブラムシ類	2000～3000					
なばな類	アオムシ、コナガ	2000		収穫前日まで	3回以内		
非結球はくさい	アオムシ	2000～4000					
みずな	アブラムシ類、ダイコンハムシ ヤサイゾウムシ	2000～3000					
非結球あぶらな科葉菜類（こまつな、非結球はくさい、みずな、なばな類を除く）	アオムシ	2000					
こまつな	アオムシ、ハクサイダニ						
レタス	アブラムシ類、ヨトウムシ	2000～3000		収穫3日前まで	5回以内		5回以内
非結球レタス				収穫前日まで	2回以内		4回以内（乳剤は2回以内、粒剤は2回以内）
トレビス	アブラムシ類	3000		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
たまねぎ	アザミウマ類、ネギコガ ハスモンヨトウ				5回以内		5回以内
ねぎ	シロイチモジヨトウ	2000			3回以内		3回以内
	アザミウマ類、ネギコガ	2000～3000					
	ネキリムシ類	4000～8000	0.5～1リットル/m²			株元灌注	

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
にんにく	ネギコガ、アブラムシ類	2000～3000	100～300リットル/10ａ	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内（乳剤は2回以内、粒剤は2回以内）
	アブラムシ類	32～48	1.6リットル/10ａ			無人航空機による散布	
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類	2000～3000	100～300リットル/10ａ		3回以内	散布	3回以内
	ヨトウムシ、アブラムシ類	2000					
豆類（未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、未成熟そらまめを除く）	アザミウマ類、アブラムシ類 ハモグリバエ類、ヨトウムシ類 ウラナミシジミ、アズキノメイガ マメシンクイガ	3000	100～300リットル/10ａ	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
未成熟そらまめ				収穫7日前まで			
えだまめ	アザミウマ類、アブラムシ類 ハモグリバエ類、ヨトウムシ類 ウラナミシジミ、アズキノメイガ マメシンクイガ、ウコンノメイガ ツメクサガ、フタスジヒメハムシ マメハンミョウ			収穫前日まで			
さやいんげん	カメムシ類、アザミウマ類 アブラムシ類、ハモグリバエ類 ヨトウムシ類、ウラナミシジミ アズキノメイガ、マメシンクイガ			収穫14日前まで			
さやえんどう	ナモグリバエ、ウラナミシジミ ヨトウムシ類			収穫前日まで			
ほうれんそう	アブラムシ類、ハクサイダニ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
だいず	アブラムシ類、カメムシ類 ウコンノメイガ、ツメクサガ フタスジヒメハムシ マメシンクイガ、マメハンミョウ	24	0.8リットル/10ａ	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
あずき	アズキノメイガ	2000	100～300リットル/10ａ	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内（乳剤は2回以内、粒剤は2回以内）
	アブラムシ類	2000～3000					
そらまめ		3000					
しそ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類 アザミウマ類、コナジラミ類 ウリハムシモドキ	4000					
トマト	オンシツコナジラミ、アブラムシ類	2000～3000			3回以内		3回以内
ミニトマト							4回以内（株元散布は1回以内、散布及び噴射は合計3回以内）
なす	アブラムシ類						3回以内
	オンシツコナジラミ、テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000					
ピーマン	アブラムシ類	2000～3000			5回以内		5回以内
	タバコガ、カメムシ類	2000					
とうがらし類	アブラムシ類	2000～3000		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
	タバコガ	2000					
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	2000～3000		収穫14日前まで	4回以内		4回以内

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
やまのいも	アブラムシ類、アザミウマ類 ヤマノイモコガ	2000～3000	100～300リットル/10ａ	収穫７日前まで	５回以内	散布	５回以内
さといも	ハスモンヨトウ	2000					
	アブラムシ類、スズメガ類	2000～3000					
さといも（葉柄）	ハスモンヨトウ	2000			２回以内		２回以内
	アブラムシ類	3000					
かんしょ	イモコガ				５回以内		５回以内
オクラ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類 カメムシ類	2000		収穫前日まで	３回以内		３回以内
つるむらさき	ヨトウムシ			収穫７日前まで	２回以内		２回以内
食用ゆり	アブラムシ類	3000		収穫前日まで	５回以内		５回以内
食用亜麻	ヨトウガ	2000		収穫14日前まで	２回以内		２回以内
ごま	アブラムシ類、カメムシ類			収穫３日前まで	３回以内		３回以内
しゅんぎく	アブラムシ類、ハクサイダニ	4000		収穫21日前まで	２回以内		２回以内
はこべ	オオタバコガ	3000			１回		１回
茶	チャノコカクモンハマキ	2000	200～400リットル/10ａ	摘採14日前まで			
	チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ	2000～3000					
花き類・観葉植物（はぼたんを除く）	アブラムシ類	2000～4000	100～300リットル/10ａ	発生初期	６回以内		６回以内
	カメムシ類、ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2000					
はぼたん	アブラムシ類	2000～4000					
	カメムシ類、ハマキムシ類 ヨトウムシ類、アオムシ	2000					
樹木類（くちなしを除く）	ケムシ類、アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000～8000	200～700リットル/10ａ				
くちなし							
	アザミウマ類	2000					

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ◆ 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないこと。
- みずかけな（水掛菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用後１４日間は入水しないこと。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 散布は各散布機種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
  - ◆ 作業終了後は次の項目を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
    - ② 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
    - ③ 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤は自動車等に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。
  本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- ❖ 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。
  眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 使用の際は農薬用マスク、手袋などを着用すること。
  また薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用はさけること。
  水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
  無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
  使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 危険物第４類第２石油類に属するので火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気をさけ、直射日光の当らない低温な場所に密栓して保管すること。